

やまびこ



第18回栗駒高原森林まつり (6 頁に関連記事)

目

次

- ◇前組合長退任挨拶…………… 2
- ◇新組合長着任挨拶…………… 3
- ◇第22回通常総代会…………… 3
- ◇「新役員」決まる…………… 4
- ◇系統運動「JForest栗駒高原森林組合ビジョン2030」及び「第2次中期経営計画」…………… 5

- ◇第18回栗駒高原森林まつり…………… 6
- ◇新規採用現場技能者・職員紹介…………… 7
- ◇春の優良みやぎ材展示即売会…………… 7
- ◇栗駒高原森林組合運営機構図…………… 8
- (株)栗駒高原開発センター運営機構図
- ◇係より…………… 8

退任の挨拶・長い間ご支援ありがとうございました



前代表理事組合長
佐藤 則明

私は第22回通常総代会後の理事会において、組合長に立候補はしませんでした。皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。平成24年3月から12年間組合長を務めさせてもらいました。

組合員のためになる組合を目指し日々努力してまいりました。組合員の皆様方・御先祖様方は、若いころ、30年後、40年後の山の成長を夢見て、労力とお金をかけてきたはずで、今まさにその収穫時を迎えています。経済的社会的地位の向上を得る時が来ています。森林の保続培養並びに森林生産力の増進を図って来ていたのです。組合員への一層の利益還元を実現する必要があると考え代表理事に就きました。

令和24年度(私の就任時)の木材生産量が8千³m³だったのが12年後の令和5年度には7倍の5万6千³m³にまで伸びました。その中にはウッドショックの影響もありましたが、組合員皆様の山の資産があったことが裏付けです。職員は緻密な生産計画と販売戦略によって、生産量の増産と、一本残らずの販売を成し遂げできました。現場技能者は材の質と径

級の見極めで有利販売につなげました。その結果が生産拡大となったのです。協力会社の存在はもちろん大です。ご苦勞様でした。

素材生産量の推移

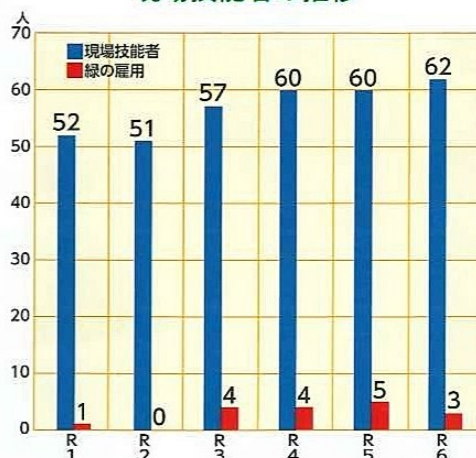


木材は伐って使って植えて育てるという原則は崩すことがあってはなりません。そのためには各種の補助制度を利用しながら新植面積の確保を行ってきました。厳しい予算ながら、地球温暖化対策とも相まって目標値の60ha以上の実績を上げてきました。今後もこの努力は続けていかなければなりません。

新植面積の推移



現場技能者の推移



もう一つは人材育成の努力です。

林業は3Kの代表的産業と言われてきました。まして過疎化の進行している当地方では若い労働者の確保は極めて難しい状況でした。しかし人材確保なしでは森林組合の組織継続は出来ません。機械化による省力は進んできましたが経営資源の第一は「人」です。そのためには働く人の就業環境改善・所得向上が欠かせません。そんな中「やまびこ第41号」に掲載しましたが、令和4年9月5日付で厚労省認定のユースエール認定企業となりました。若者の採用や人材育成に積極的に取り組む企業であること。直近3事業年度の新卒者などの正社員として就職した人の離職率が20%以下。有給休暇の年間給与数に対する取得率が平均で70%以上。年間取得日数が平均10日以上。等々

です。若者の採用や人事育成に積極的に取り組む企業に認められました。このことによる事業拡大・経営の安定化が図られてきました。

人材は単に人数がいたただけではいけません。各人が高いモチベーションを持ち、知識・技術・想像力を高め、研修会、発表会は定期的に行っていました。職員は高度な知識を得るために各種の資格試験に挑戦しそれを成し遂げてきました。努力に対しての評価は当然します。人材の成長には個々人の努力は欠かせません。しかし組織としての取り組みは重要です。

森林組合で最も力を入れてきたのが、労働災害ゼロです。大目標としてきました。しかし残念ながら毎年数名の重軽傷者を出してしまいました。月例の安全衛生委員会が安全に対しての取り組みを確認しています。事故あったときはその都度全員で検証をして、対策を立ててきました。現場では日々のKY会議を行ってきました。しかし同様の災害が起きてきたことは今後の大反省となります。

令和3年度に10年後を見据えた、森林組合ビジョン2030(第2次中期経営計画)を立てました。

(1)組合員サービスの向上 (2)働く人の所得向上・就業環境改善 (3)事業拡大・効率化による経営の安定です。これらの達成の為、今後も全員で頑張っていくて欲しいです！

着任の挨拶



新代表理事組合長
狩野 周一

日頃、栗駒高原森林組合事業運営につきましては、組合員皆様方より温かいご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

去る三月十五日開催の総代会に於いて、理事としてご承認を頂いたのちの理事会に於きまして、不肖私が合併後三代目の組合長に就任を致しました。浅学非才の身ではございますが、誠意取組んでまいりたいと存じます。前任者である佐藤則明氏に於かれましては、十二年間に亘り経営手腕、リーダーシップを遺憾なく発揮され、確固たる基盤を築いていただきました。これまでのご労苦に敬意と感謝を申し上げます。

前佐藤組合長が常々申し上げております「組合員ファースト」を念頭に置いて現状に満足することなく、栗駒高原森林組合の更なる発展、「笑顔に勝る化粧ナシ」と言われますが、笑顔で働き甲斐のある職場環境の整備、そして次代を担う子供たちのために豊かな森林を未来に引き継ぐために微力ではあります、努力を続けてまいりたいと存じます。

早急に取り組むべきは、本年に入り、宮城県下では、3件の死亡事故が発生しました。宮城県森林組合連合会の傘下の森林組合で2件の痛ましい死亡事故が発生しております。当組合でも3

件の労災事故が発生しており、誠に憂慮に絶えない事態となっております。

組合にとつて、かけがえのない職員、現場技能者、そして希望をもつて就業した若者を事故災害から守るためにも安全管理に努め、無事故無災害を推進してまいります。

森林整備を支える財源である森林環境税、森林環境譲与税は、本年四月より徴税が始まりました。森林環境譲与税をしっかりと活用して地域の森林整備を進めることが何よりも大切と考えられます。

戦後植栽された林分が収穫期を迎えておりますが、先人が流した汗が報われる状況下にはありませんが、これからも地域の森林を共同の力で守り、育て、森林環境保全と林業の発展を通じて、地球温暖化防止に貢献していることを再認識し取組んでまいります。

昨今の、林業を取り巻く環境は、CLT等の普及、高性能林業機械の導入、林業分野のICT(情報通信技術)利用の期待が高まっております。更には杉から抽出した新素材「改質リグニン」は強度や耐熱性を必要とする工業製品の原料、素材として電子基板やフィルム、自動車部品等の様々な分野での利用が期待されております。

杉の新たな需要により、森林資源の付加価値が高まるものと期待が寄せられております。明るい兆しも見えてきております。これからの成長産業であると確信を致しております。

総代会に於いて採択されました事業計画に沿って役員、現場技能者一丸となつて取組んでまいります。今後とも温かいご理解ご協力をお願い申し上げます。

令和六年度「第22回通常総代会」終了報告

去る、3月15日午前10時より第22回通常総代会が、みちのく伝創館に於いて開催されました。

◎総代数 二〇〇名(内欠員一名)
◎出席状況 本人出席 一四六名
委任出席 一名
書面議決 二二名
計 一六九名

◎議 長 炭屋一夫総代(栗駒地区)
◎第1号議案 令和五年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案に関する件
◎第2号議案 令和六年度事業計画に関する件
◎第3号議案 令和六年度役員報酬に関する件
◎第4号議案 令和六年度余裕金預入先に関する件
◎第5号議案 令和六年度借入金最高限度を定める件
◎第6号議案 令和六年度一組合員又は一の組合員以外の者に対する貸付金額の最高限度を定める件
◎第7号議案 令和六年度一組合員の負担する債務に対する債務保証の最高限度及び事業年度内における債務保証の最高限度を定める件
◎第8号議案 役員の選任に関する件

提出議案10件全議案原案通り可決されました。
主な質疑応答内容については、次の通りでした。

①狩野章氏(金田地区)
質問…P6の販売部門において海外への輸出に取り組んだとあるが、どれくらいの数量か。
回答…国内の材が過剰だということで全森連が主導し、宮城県は五回、当組合は五千㎡供給した。

②三浦正勝氏(長崎地区)
質問…間もなく十億という取扱計画に対して事業利益が減となっている。管理費の増もあり収益減となっている要因は何か。
回答…販売についてはウッドショックが落ち着き値下りとなった。収益率は二五%から昨年は十一%、今年も続く見込である。森林整備については燃料、資材の高騰、賃金のベースアップ、林業機械購入の為、減価償却増による管理費の増加となった。

③齋藤政憲氏(長崎地区)
質問…男女共同参画と言われている。当組合はほぼ男性、外部では規程に女性枠を設けていると聞いている。その点についての考え方、女性が参画できる組織構成はあるか。
回答…役員については男女問わず自ら出たていただきたいと思っている。女性枠については今後組織の中で検討したい。今、他の女性団体と交渉中であり六月頃には結論を出して頂く予定である。

④狩野章氏(金田地区)
質問…設備拡張積立金取崩とあるが内容を知らたい。
回答…新規に重機購入の為積立金の取り崩しを計画している。
質問…二・三千万の計画だが、不足分はどうするの。
回答…補助金を充当する。



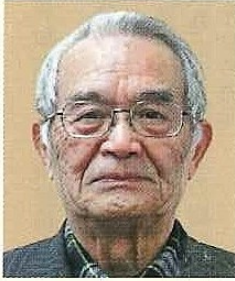
新執行体制スタート

第22回通常総代会の承認を受け、3月15日新役員での第1回目の理事会、監事会が開催されました。代表理事組合長は狩野周一理事が就任され、副組合長には鈴木喜八理事、代表監事には門傳仁監事が選任され新執行体制が決定しました。

又、(株)栗駒高原開発センターの臨時社員総会が行われ、取締役には鈴木秀一理事、鈴木喜八理事、菅原勝宏理事、佐藤倫治理事、監査役には佐々木秀悦監事、千葉俊朗監事が選任され、代表取締役には鈴木秀一理事が選任されました。

◎ 新役員は下記の通りです。

(理事11名・順番は理事会決定の通り)

理 事 3  秋山 憲義 姫松(栗駒)地区	理 事 2  菅原 勝宏 文字地区	理事1【総務副委員長】  濁沼 正治 栗駒地区	副組合長理事  鈴木 喜八 鶯沢地区	代表理事組合長  狩野 周一 花山地区
理 事 8  阿部 次貞 岩ヶ崎地区	理事7【業務副委員長】  佐藤 倫治 花山地区	理 事 6  鈴木 秀一 岩ヶ崎地区	理 事 5  佐藤 幸吉 金田地区	理事4【総務委員長】  佐藤 則明 真坂地区
監 事 2  千葉 俊朗 文字地区	監 事 1  佐々木秀悦 鳥矢崎地区	代表監事  門傳 仁 長崎地区	監事3名 順番は監査会 決定の通り	理事9【業務委員長】  菅原 直之 栗駒地区

系統運動「JForest栗駒高原森林組合ビジョン2030」及び「第2次中期経営計画」

令和3年度からスタートした系統運動「JForest 栗駒高原森林組合ビジョン2030」及び「第2次中期経営計画」の進捗状況です。令和5年度の実績を検証し、更に検証結果を踏まえた改善策を検討し、令和7年度・令和12年度の目標値を達成できるよう事業を展開してまいりますので、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

成果指標		現状 2年度	3年度 実績	4年度 実績	5年度 実績	5年度 計画	6年度 計画	7年度 計画	7年度 目標値	12年度 目標値
基本情報	職員数(現場技能者除く)(人)	17	19	20	18	20	20	20	20	20
	現場技能者数(人)	51	57	60	60	60	60	60	60	60
	うち新規採用(緑の雇用)	1(0)	8(4)	4(4)	7(5)	3(3)	3(3)	3(3)	3(3)	3(3)
数値項目	新植面積(ha)	52	39	78	68	60	60	60	60	70
	間伐面積(ha)	(切捨)	194	207	251	130	100	171	171	180
		(利用)	215	176	164	176	190	200	230	250
	主伐面積(ha)	16	29	92	100	22	26	28	28	40
	林産事業量(m³)	(主伐)	6,575	13,078	28,986	37,443	11,000	13,000	14,000	20,000
		(間伐)	16,106	18,734	16,726	19,032	13,000	14,000	16,000	20,000
	販売事業量(m³)	23,786	32,335	47,687	57,153	30,000	34,000	37,000	37,000	50,000
	うち連合会を通じた販売量(m³)	8,174	3,635	5,352	13,656	10,000	10,000	10,000	10,000	15,000
	森林経営計画策定面積(ha)	1,024	904	771	779	1,132	1,141	934	934	1,000
	山行苗木販売数量(本)	122,241	105,093	137,869	146,281	110,000	110,000	110,000	110,000	125,000
	森林保険年間契約面積(ha)	201	266	234	228	160	160	170	170	220
	森林施業プランナー認定者数(人)	7	7	8	9	10	10	12	12	17
	森林組合監査士資格取得者数(人)	1	1	1	1	1	2	2	2	2
	休業4日以上死傷病発生人数(人)	1	1	3	2	0	0	0	0	0
	高性能林業機械(台)(更新)	9	8	フエンチャ (フォワード)	(フォワード)	(フォワード)	(ハーベスタ)	(フォワード)	9	9
	指導部門	収 益 (千円)	786	636	1,179	704	790	690	790	830
		費 用 (千円)	3,097	2,863	4,081	4,024	4,990	4,700	5,000	5,150
		損 益 (千円)	-2,311	-2,227	-2,902	-3,320	-4,200	-4,010	-4,210	-4,320
	販売部門	収 益 (千円)	182,703	196,009	370,039	444,994	249,800	277,800	299,000	400,000
		費 用 (千円)	140,607	151,697	307,146	393,391	209,180	232,560	246,590	329,680
		損 益 (千円)	42,096	44,312	62,893	51,603	40,620	45,240	52,410	70,320
	加工部門	収 益 (千円)	594	713	931	980	750	750	750	1,000
		費 用 (千円)	407	448	698	713	400	400	400	600
		損 益 (千円)	187	265	233	267	350	350	350	400
	森林整備部門	収 益 (千円)	442,244	443,972	482,393	454,049	432,350	432,370	449,460	498,170
		費 用 (千円)	282,503	301,786	353,729	330,861	284,530	281,820	295,510	348,570
		損 益 (千円)	159,741	142,186	128,664	123,188	147,820	150,550	153,950	149,600
	収支計画	事業総収益(千円)	626,327	641,330	854,542	900,727	683,690	711,610	750,000	900,000
		事業総費用(千円)	426,614	456,794	665,654	728,989	499,100	519,480	547,500	684,000
		事業総利益(千円)	199,713	184,536	188,888	171,738	184,590	192,130	202,500	216,000
		事業管理費(千円)	146,279	149,119	155,257	149,419	147,630	149,020	149,390	158,570
		事業利益(千円)	53,434	35,417	33,631	22,319	36,960	43,110	53,110	57,430
		経常利益(千円)	56,494	40,566	41,562	27,031	39,240	45,390	55,390	59,710
		税引前当期利益(千円)	53,569	45,202	42,329	27,741	39,640	46,290	56,490	60,810
	当期剰余金(千円)	37,369	32,562	34,887	18,741	28,130	35,260	39,480	39,480	43,520
取組有無項目	常勤理事の設置	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	若年層(60歳未満)理事の就任		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	女性理事の就任						◎	◎	◎	◎
	ホームページの運用	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	森林経営プランナーの設置					◎	◎	◎	◎	◎
	SDGs宣言の実施		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

2024『第18回栗駒高原森林まつり』

令和6年4月20日(土)／栗駒高原森林組合



栗駒高原森林まつりは、比較的天候に恵まれ約850人の来場者となり、組合員及び地域のふれあいの場として提供し、今年も大盛況となりました。

家族で協力しながらつくる木の実デコレや椅子、万能台の木工教室には多くの方々が参加されていました。苔テラリウム・苔玉ワークショップは、苔に癒され綺麗なオリジナル作品が見事に出来上がりました。また、しいたけほだ木も人気があり、開催時間前から注文が殺到しました。花、緑化木、木工品の販売や地元米っこパン、いちご、しいたけ、岩魚焼、林業資材等の販売を行いたくさんのご購入を頂きました。

のど自慢カラオケ大会ではSPEEDの「White Love」を歌った栗駒の小野寺さんが見事第9回大会の優勝者となりました。今回森林まつりに初出場した地元、城生野神楽による「三番叟」、「鶏舞」、昨年に引き続き開催に花を添えて頂いた劇団「ともえ座」は、熱烈なファンの方々に盛り上がりしました。チェーンソー競技大会は今年で9回目となり森林組合のプロ集団の真剣勝負をご覧頂きました。また、チェーンソーひとつで丸太を自由自在に彫刻するチェーンソーアートは、国内の大会で優勝実績のあるトップクラスのアーティストを招き、クマやフクロウ、イヌをつくり、制作終了後にはオークションを行い威勢の良い声が上がっていました。

今年の大抽選会は、豪華景品を数多く揃え、最大の目玉である「森林組合賞・刈払機」は築館の佐藤さん、「開発センター賞・エンジンブロワ」は金成の佐藤さんが見事射止められました。

みなさまのご来場ありがとうございました。



新規採用現場技能者・職員紹介

令和5年12月から令和6年4月にかけて、当組合に4人の新たな仲間が加わりました。

令和2年11月に結成された「緑の育成班」に所属する新規採用の現場技能者には、フォレストマネージャー(総括現場管理責任者)が、基本からしっかりと時間をかけて1年間指導いたします。また、研修制度にも参加し3年後には林業機械等の全資格を取得、フォレストワーカー(林業作業士)となります。

私がこの仕事を始めるきっかけになったことは、両親は山が好きで、幼少期から自然と触れ合うことが多く、自然の中で仕事ができることに魅力を感じたことです。林業を始めてまだ数ヶ月ですが、毎日新鮮な経験ややりがいを感じることができて楽しいです。いち早く確実に技術を身に付け、第一線で働けるようになります。



現場技能者
佐藤 慧
令和6年1月1日採用
年 齢／24歳
出身地／栗原市志波姫

私がこの組合を選んだ理由は2つあります。

1つ目は前職で建設の仕事をしていて、また体を動かす仕事をしたかったからです。2つ目は前職で草刈りや細い木を切った事があり、技術向上や林業に対する興味を深めたく、この森林組合に就職しました。覚える事、大変なことは多くあると思いますが、精一杯頑張っていきます。



現場技能者
柴山 悠汰
令和5年12月1日採用
年 齢／25歳
出身地／栗原市若柳

私は今まで育ってきた地元の緑を守りたいと思い組合に入りました。林業や山の事等に関する知識はありませんが、林業教室や日々の仕事から学び、それを活かす事が出来るように焦らずゆっくりと知識を身につけていくと共に、事故や怪我がないように心がけて安全第一で頑張りたいと思います。



職 員
千葉 愛結実
令和6年4月1日採用
年 齢／18歳
出身地／栗原市栗駒

私は青森の高校で林業を学びました。そこで林業の職に就きたいと考えました。親元を離れて生活してみたいと思い、栗駒高原森林組合に来ました。分からないことだらけで、早く成長できるように頑張ります。

周りに友達もいなくて一人なので、職場の皆さんと仲良くしたいです。これからよろしくお願いします。



現場技能者
米倉 翔哉
令和6年4月1日採用
年 齢／18歳
出身地／青森県五所川原市

◆ 令和6年春の優良みやぎ材展示即売会 ◆

令和6年4月11日(木)／宮城県森林組合連合会 大衡綜合センター

春の優良みやぎ材展示即売会が、大衡綜合センターを会場に開催されました。

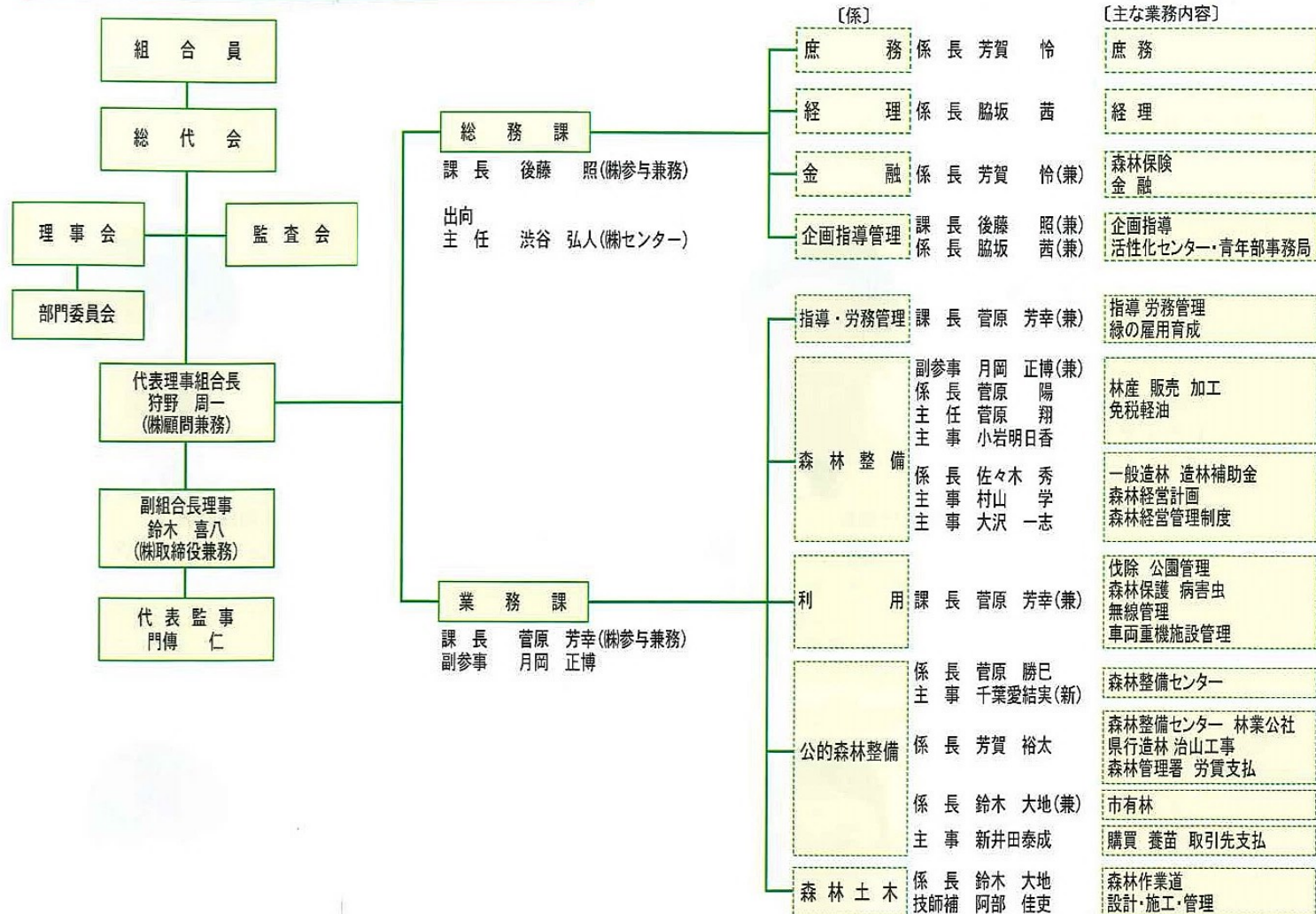
当日の出品量は1,773 m³、販売量1,742 m³、販売率98%で、当組合では針葉樹・広葉樹合わせて約36 m³を出品しました。

全体の出品・落札状況としては、落札価格が安定傾向にあると同時に広葉樹の出品量が増加傾向にありました。



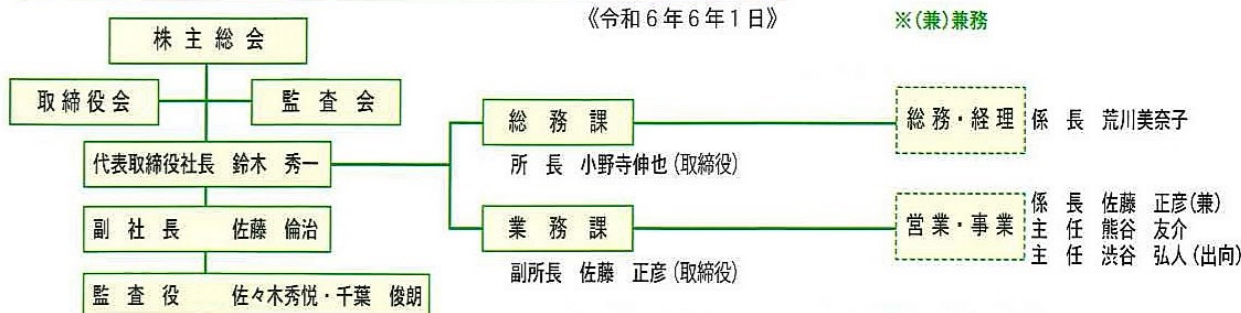
栗駒高原森林組合運営機構図

《令和6年6月1日》



(株)栗駒高原開発センター運営機構図

《令和6年6月1日》



◎詳細については、
総務課にお問い合わせ下さい。
☎0228-45-3311

女性会員募集中です。

栗駒高原森林組合青年部

組合員が住所を変更した場合、届出が必要になります。

住所変更について

組合員が後継者に山林を贈与した場合、届出が必要になります。

承継加入手続きについて

組合員が死亡した場合、届出が必要になります。相続加入手続きをお願いいたします。

相続加入手続きについて

係より
組合員のみなさんへ



令和6年4月30日をもちまして、総務課副参事の菅原多鶴子さんが定年退職を迎えられました。
長年にわたり当組合のため、ご尽力賜り誠にありがとうございました。

職員定年退職

